

公明党との 「予算・政策要望懇談会」へ 出席しました！

平成29年11月19日（日）午前9時45分～10時15分
岡山国際ホテル「松琴」にて開催しました。



大王副理事長 と 宮本事務局長

【岡山県腎協からの要望】

(1) CKD 対策について予算厳しく、国からの補助は50%で、全国では全く取り組みの出来ない県もある。予防活動は最重要課題、補助金の割合の見直しも必要。

〔柘屋議員〕 CKD 対策、岡山は先進県。中国地区の他4県は、岡山を目標としたい。

(2) CKD ピアサポートとしての相談事業として、岡山市でも事業展開を希望。

〔柘屋議員：Q〕 医療スタッフ不足で、夜間透析中止の事例はあるのか？

〔宮本事務局長：A〕 岡山県下の一部の病院も、若干はやっているが今後は減らしていく動きにある。

(3) 医療費控除でガソリン代、病院での給食費について、通院透析患者、在宅療養も増加する。

(4) 医療従事者不足について、現在尽力して頂いているが、更なる継続を希望。

(5) 地域包括ケアシステム施行に伴う課題について、現状に応じた解決策の検討。

(6) 通院困難患者の移送支援について、しっかりした制度（行政）のなかでの運営を希望。

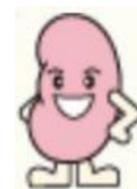
〔柘屋議員：Q〕 岡山県内の通院体制はどうなっている？

〔宮本事務局長：A〕 基本的には紳士協定で、病院での通院送迎はしない。一部では法人を設立し福祉送迎をやっているところはあるが、全体には行きわたっていない。

(7) ヘルプマーク配布について、更なる普及活動を希望。

【感想】

懇談時間30分と限られた時間ではありましたが、柘屋衆議院議員からも強い関心を示されるような質問があり、宮本事務局長より丁寧な説明がありました。他7名の議員先生方も真摯に耳を傾けておられ、中身の濃い懇談会であったように感じました。



柘屋敬悟衆議院議員（前列左から3人目）を囲んで